

CONTENTS

編集長ブログ
blog-mag.ipsj.or.jp

《記号の説明》

■ 基 礎
■ 専 用

■ 基礎

■ 応用

■ 専門家向け

■ 一般（非専門家）向け

※各記事に指標がついて
いますので参考になさって
ください

《巻頭コラム》

医者と患者と IT 秋富慎司

《特集》

あのころの未来

- 731 0. 編集にあたって 金岡 晃
- 732 1. ■ 不自然さがなく驚異—ジョーという名のロジック 隠された論理— 金子 格
- 734 2. ■ 古くさい未来とはおさらばだ—ニューロマンサー— 暦本純一
- 736 3. ■ ヒトとアンドロイドを分かつものとは?—ブレードランナー— 西澤 格
- 738 4. ■ ブレードランナーの夢と悪意—ブレードランナー— 園田道夫
- 740 5. ■ 融合する世界—攻殻機動隊 THE GHOST IN THE SHELL — 井上大介
- 742 6. ■ プライバシーを喪失したデストピア—一九八四年— 武仲正彦
- 744 7. ■ 科学は人を差別するか—GATTACA (ガタカ) — 大木哲史
- 746 8. ■ 1980年代の未来の映像技術—バック・トゥ・ザ・フューチャー PART2 — 澤野弘明
- 748 9. ■ コンピュータらしいコンピュータ—Hogan「創世記機械」— 福地健太郎
- 750 10. ■ マイノリティ・レポートで情報倫理の限界を試せ—マイノリティ・レポート— 辰己丈夫
- 753 11. ■ 人工知能の特異点を遡って—2001年宇宙の旅— 原田康也
- 756 12. ■ 「男性が好むクリスマス・ギフトを調査しています」—Daniel F. Galouye「模造世界」— 綾塚祐二

《小特集》

宇宙システムのつくりかた

- 759 0. 編集にあたって 原内 聡
- 760 1. ■ 情報技術によって変わる宇宙システムのつくりかた 山田隆弘
- 764 2. ■ 宇宙システムの開発プロセス—「こうのとりのつくりかた」を題材に— 白坂成功
- 768 3. ■ 宇宙で動くソフトウェアのつくりかた—宇宙環境での信頼性の確保— 吉田 実
- 772 4. ■ 打上げ管制システムのつくりかた—小型人工衛星打上げ用ロケット「イプシロン」の事例を中心に— 広瀬健一
- 777 5. ■ 衛星の状態監視システムのつくりかた—過去のデータに基づく異常検知— 矢入健久
- 781 6. ■ 衛星の標準バスのつくりかた—小型衛星「NEXTAR」の事例を中心に— 川口昭良・牟田 梓

《報告》

2014年度論文賞の受賞論文紹介

- 785 選定にあたって 乾健太郎
- 785 情報学的な問題解決の重要性 山口弘純
- 786 人と機械による創作を考えて 山岡潤一・箕 康明

- 787 有価陶磁器製品の真正性を機械的に判定する試み 藤川真樹
- 787 ギャップを含むコードクローンの検出 村上寛明
- 788 高性能機械翻訳への取り組み ~既存の品詞体系からの脱却~ 田村晃裕
- 789 Opportunistic Collection of Disaster Information Jovilyn Therese B. Fajardo
- 790 定理証明技術の鉄道信号への適用を目指して 寺田夏樹
- 791 0からのスタート 佐々木謙太郎
- 791 より"使える"データベース技術を目指して 早水悠登
- 792 不揮発性メモリのオペレーティングシステムサポートに向けて 追川修一
- 793 Real-time Video Mosaicing using Non-rigid Registration Rafael Henrique Castanheira de Souza・Masatoshi Okutomi・Akihiko Torii

2014 年度長尾真記念特別賞紹介

- 794 選定にあたって 徳田英幸
- 795 「あったらいいな」を具現化し続ける 荒川 豊
- 795 安全・安心・便利な社会を実現するバイオメトリクス・セキュリティ 高橋健太
- 796 思いがけない幸運, Bonanza 保木邦仁

2014 年度喜安記念業績賞紹介

- 797 選奨にあたって 中田登志之
- 798 古くて新しいアイデンティティという課題への挑戦: ウェブ, クラウド, IoT, その先へ
高橋健司・直井邦彰・久米田博・李 焄・永野一郎
- 798 セキュア OS の普及に向けた取り組み 中村雄一・海外浩平・原田季栄・半田哲夫・山内利宏
- 799 人口のダイナミクスを捉える新しい統計の実現 山口高康・小林基成・鈴木俊博
- 800 ロボット技術発想の源は人間観察にあり 堂前幸康・奥田晴久・永谷達也・田中健一・藤田正弘

《シニアコラム: IT 好き放題》

- 801 情報処理センターにおける創意工夫と論文化
藤村直美

《連載: ビブリオ・トークー私のオススメ》

- 810 キャズム Ver.2 [増補改訂版] 新商品をブレイクさせる「超」マーケティング理論
河口信夫

《連載: 女子部が行く! 一学会探訪記一》

- 802 第 1 回 会誌編集委員会一會誌編集の舞台裏一
加藤由花

《連載: 会誌編集委員会女子部》

- 812 ラスト… 野田夏子

《教育コーナー: ペタ語義》

- 805 「その後」の TENTO とプログラミングスクールの現在 竹林 暁
- 806 情報教育と統計教育 No. 2 手順的な自動処理と機械可読データ 奥村晴彦

814 会員の広場

816 IPSJ カレンダー

818 人材募集

821 有料会告

822 論文誌ジャーナル掲載論文リスト

822 論文誌トランザクション掲載論文リスト

823 デジタルプラクティス掲載論文リスト

824 英文目次

828 有料会告について

830 アンケート用紙

831 次号予定目次

832 編集室

833 掲載広告カタログ・資料請求用紙

834 賛助会員のご紹介

会誌編集委員会

編集長

塚本 昌彦

担当理事

角 康之

加藤 由花

本号エディタ

五十嵐悠紀

小野寺民也

金岡 晃

兼宗 進

北村 操代

木下 哲男

駒谷 昇一

酒井 洋平

末永俊一郎

谷 幹也

辻田 眸

鶴岡 慶雅

土井 千章

永野 秀尚

西山 博泰

原内 聡

坊農 真弓

松崎 公紀

村上 知子

編集スタッフ

入江 玲子

後路 啓子

田中理果子

町田 善江

守田真紀子

綿谷 亜樹

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先: 一般社団法人著作権者協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、著作権者協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

IP SJ MAGAZINE

情報処理

2015
8

Vol.56 No.8
通巻 605 号



巻頭コラム

医者と患者と IT

秋富慎司

特集 あのころの未来

小特集 宇宙システムのつくりかた

電子版もご覧ください



電子版を読む(会員無料)
情報学広場



iphoneなどで読む(有料)
Newsstand



電子版を購入(有料)
Fujisan

① 長期供給と長期保守

2002年からPCIバス搭載FAコントローラを販売しており、これまでシリーズ発売開始から10年継続生産してきました。これからも同じCPU、OS、ユニット、インタフェースモジュールを長期に渡って供給して行きます。また、保守は最長8年間の延長契約ができるため、出荷から最長15年間の修理対応が受けられます。トータルコストを考えると、パソコンからの置き換えに最適です。

④ パソコンにない付加価値

FAコントローラと名乗っていますが、中身はパソコンです。但し、パソコンとの違いは、部品選定から工業用部品を採用することで、信頼性と長期供給を実現しております。また、電源プッシュ切り、RAID、瞬時電圧低下対策装置等、FA分野に必要な機能に特化したモデルも用意しております。

② 安心の互換性

10年継続生産を続けながらも、互換性をもった後継機種を定期的に発売しており、現在11種類のシリーズ展開をしてきました。後継機種は、ハードウェア、ソフトウェアの互換性があるため、どのタイミングでも安心して移行できます。

⑤ PCIバスの継続 PCI Expressの拡充

PCIバス用インタフェースモジュールは、1997年の発売から約300種類を販売してきました。まだまだ継続販売を致しますので、長期安心FAコントローラと一緒にPCIの資産をご利用ください。

PCIバス用インタフェースモジュールとハードウェア、ソフトウェア互換を持ったPCI Express用インタフェースモジュールを52種類リリース予定。

長期安心FAコントローラもPCI Expressとの混載モデルやPCI Express専用モデルも用意しており、PCI Expressへの移行も容易にできます。

③ 幅広いOSラインナップ

各種Windows系OSを用意しており、Windows 10 IoTの対応も予定しております。Linuxについては2002年から自社ボーディングを行っており、安定供給を実現しています。また、DOSやWindows XP Proも継続販売中です。

⑥ 高いメンテナンス性

カレンダー時計は10年保持ができる電池を採用。メディア(HDD、CF、CFast)や筐体FANは簡単に交換ができ、ネジ4本で筐体カバーも簡単に開閉できます。

長期安心FAコントローラ

CPU + OS + ユニット + インタフェースモジュール = Interfaceのオールインワンソリューション

インタフェースモジュール
※ インタフェースモジュールは別売です。

ユニット: PCI 7スロット

CPU: Celeron 807UE 1.0GHz

OS: Windows 7 Professional

HDD×2 RAID対応モデル
型式: PFA-R07CC10U(W7)R12
CPU: Celeron 807UE 1.0GHz
メモリ: 2GB
起動デバイス: HDD 500GB×2
OS: Windows 7 Professional
画面出力: DVH×1
LAN: 1Gbps×2ポート
USB: 5ポート(前面1 / 背面4)
RS-232C: 1ポート
PS/2: 1ポート
拡張スロット: 7スロット(PCI)
入力電源: AC 100V-240V(50Hz / 60Hz)
※ ただし、ACケーブルはAC100V用を添付
電源容量: 220W(MAX)
筐体FAN: あり
動作温度: 0C~+50C(HDD部は+5C~+50C)
外形寸法: 304(W)×285(D)×155(H) [mm]
(突起部含まず)

省スペース
PCI 1スロット
カスタマイズ



PCI 2スロット
カスタマイズ



PCI 4スロット



多スロット
PCI 7スロット



PCI 13スロット(19インチラック対応)



PCI 9スロット(19インチラック対応)



型式説明: **PFA - C 04 C717 S (W7)**

<p>① 拡張バス</p> <p>PFA: PCIバス PHA: PCIバス & PCI Express PXA: PCI Express</p>	<p>② 起動メディア</p> <p>H: HDD D: CF F: CFast R: HDD×2</p>	<p>③ スロット数</p> <p>01: 1スロット 02: 2スロット 04: 4スロット 07: 7スロット 09: 9スロット 13: 13スロット</p>	<p>④ CPUタイプ / ディスプレイ</p> <p>NM17: Atom N450 / RGB NN19: Atom N2800 / DVH C524: Core i5 520E / RGB C726: Core i7 610E / RGB C711: Core i7 620UE / RGB C717: Core i7 3517UE / DVH CC10: Celeron 807UE / DVH</p>	<p>⑤ 電源 / 筐体</p> <table border="1"> <tr> <th>省スペース</th> <th>多スロット</th> </tr> <tr> <td>J: DC電源入力 / フルサイズ</td> <td>T: ATX電源220W / フルサイズ</td> </tr> <tr> <td>K: DC電源入力 / ショートサイズ</td> <td>U: ATX電源220W / ショートサイズ</td> </tr> <tr> <td>S: ACアダプタ / ショートサイズ</td> <td>V: ATX電源400W / フルサイズ</td> </tr> <tr> <td>なし ACアダプタ / フルサイズ</td> <td>W: ATX電源400W / ショートサイズ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>X: スロットイン電源+瞬低対策用電源装置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Y: スロットイン電源 / フルサイズ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Z: スロットイン電源+瞬低対策用電源装置 / ショートサイズ</td> </tr> </table>	省スペース	多スロット	J: DC電源入力 / フルサイズ	T: ATX電源220W / フルサイズ	K: DC電源入力 / ショートサイズ	U: ATX電源220W / ショートサイズ	S: ACアダプタ / ショートサイズ	V: ATX電源400W / フルサイズ	なし ACアダプタ / フルサイズ	W: ATX電源400W / ショートサイズ		X: スロットイン電源+瞬低対策用電源装置		Y: スロットイン電源 / フルサイズ		Z: スロットイン電源+瞬低対策用電源装置 / ショートサイズ	<p>⑥ OS</p> <p>W7: Windows 7 Professional S7: Windows Embedded Standard 7 S: Windows Embedded Standard 2009 L: Interface Linux System L6: Interface Linux System 6 J: Interface DOS System(日本語環境モデル) N: Interface DOS System(ネットワークモデル)</p>
省スペース	多スロット																				
J: DC電源入力 / フルサイズ	T: ATX電源220W / フルサイズ																				
K: DC電源入力 / ショートサイズ	U: ATX電源220W / ショートサイズ																				
S: ACアダプタ / ショートサイズ	V: ATX電源400W / フルサイズ																				
なし ACアダプタ / フルサイズ	W: ATX電源400W / ショートサイズ																				
	X: スロットイン電源+瞬低対策用電源装置																				
	Y: スロットイン電源 / フルサイズ																				
	Z: スロットイン電源+瞬低対策用電源装置 / ショートサイズ																				

カスタマイズ対応できます

- メモリ容量変更(640k/OS、OSなし、FANなし、プラットフォーム、お客様の手配等)をご相談ください。
- 32種類の新PCIインタフェースモジュールからセレクトして、組み込んだ状態でお届けできます。
- オリジナルPCIインタフェースモジュールの開発を行っており、ODMにも対応できます。
- より省スペースな1、2スロットタイプへカスタマイズできます。

有償サービス

- 下記の有償サービスを行っております。
- 他社PCIインタフェースモジュールの弊社FAコンピュータでの動作検証
- 他社パソコンでの弊社PCIインタフェースモジュールの動作検証

※ 組み合わせできる型式全てが製品化されているわけではありません。

Ohmsha books information!



●『わかりやすいパターン認識』待望の続編! あわせて学べばパターン認識のキホンがわかる!

続・わかりやすいパターン認識 教師なし学習入門

石井健一郎・上田修功 共著 A5判/340頁/定価(本体3,200円+税)

初学者にはとっつきにくいパターン認識の基本を丁寧な図解と数式展開で解説して好評を得た『わかりやすいパターン認識』の続編です。前作で取り上げていなかった教師なし学習をフォーカスし、わかりやすくまとめました。教師なし学習を理解することで、より広い対象の音声・画像処理技術を扱うことができるようになります。また、前作と本作をあわせて読むことでパターン認識の基本的な内容が網羅的に理解できる構成となっています。

●基礎から最新動向までていねいに解説!

ストレージ技術 クラウドとビッグデータの時代

喜連川 優 編著
B5変判/308頁/定価(本体3,500円+税)



ストレージネットワーク技術の基礎から最新動向までを、ストレージネットワークの業界団体SNIAの日本支部が執筆・編集した、この分野の定本です。基礎から技術の実態をわかりやすく解説するとともに、ストレージ技術の発展に役立つ理論や展望も掲載しています。また、最近のキーワードであるSDS技術やクラウドストレージなどにも触れています。

●最新応用事例まで盛り込んだ、人工知能の教科書!

人工知能の基礎 第2版

馬場口 登・山田誠二 共著
A5判/232頁/定価(本体2,900円+税)



大学学部、情報系学科の専門課目「人工知能(概論)」の教科書です。探索、プランニング、推論等の人工知能研究に関する代表的なテーマについては基礎をしっかりと解説しています。さらに、最近、研究の主流を占めている機械学習や遺伝的アルゴリズムについても基礎から応用に至る過程までを見据えた説明を行っています。

基礎からわかるTCP/IP 第3版 ネットワークコンピューティング入門

村山公保 著
A5判/344頁/定価(本体2,000円+税)

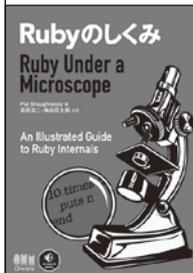


TCP/IPを真に理解するため、ネットワーク技術の解説はもちろん、コンピュータ内部の構造、データやパケットをやり取りする仕組みを解説した1冊。TCP/IPの内部処理については、視覚的に理解できるよう図解で解説。読めば必ずTCP/IPの仕組みを理解できます。

●もっと知りたい、Rubyのしくみ!

Rubyのしくみ Ruby Under a Microscope

Pat Shaughnessy 著/島田浩二・角谷信太郎 共訳
A5判/408頁/定価(本体3,200円+税)



VMベースのインタプリタ型言語処理系であるRubyがコードをどのように解釈し、どうやって実行するかを解説した書籍です。図版と短いコードの実験を多用した構成により、Rubyについての基礎知識がなくても、プログラミング言語処理系の実装の仕組みを無理なく学ぶことができます。Rubyは使えるけれど基礎が得意ではない人や、職業プログラマの方へ向けた書籍です。



オーム社

〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03(3233)0853 FAX 03(3233)3440

www.ohmsha.co.jp

定価は変更になる場合があります。

とめ 株式会社とめ研究所

知能情報処理技術をコアコンピタンスとした
ソフトウェア研究開発受託会社

人と機械の共生でもっと生活を楽しく

- ・ポスドク相当の技術者が共同研究者のように研究開発の加速推進に貢献します。
- ・情報関連だけではなく、数学、物理学の研究室出身者なども多く、多様な課題をお客様とともに解決します。
- ・画像処理、数値解析、検査、計測、ロボット、データマイニング 他

面白い事をやって社会や生活を変える

URL : <http://www.tome.jp> E-mail : info@tome.jp

「情報処理」 「情報処理 特集別刷」 amazonでご購入いただけます！

情報処理学会では、会誌「情報処理」「特集別刷」をオンライン通販サイト amazon でも販売しています。ぜひご利用ください。



「情報処理」 特集別刷 ▶

会誌「情報処理」の特集記事のみを抜き出した別刷（冊子）です。興味のある分野について手軽に読むことができます。

◆ 価格 720 円（税込）

◀ 「情報処理」（毎月15日発行）

各分野のトップレベルの方々が、最新技術を分かりやすく解説しています。著名人による巻頭コラム、特集、解説、報告、連載、コラムなど。

◆ 価格 1,730 円（税込）（55 巻 5 号より）

※ 55 巻 4 号までは価格 1,728 円（税込）になります。



一般社団法人
情報処理学会
Information Processing Society of Japan

会誌編集部 E-mail: editj@ipsj.or.jp
Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

ご注文は ⇒ <http://www.amazon.co.jp/>

情報処理学会デジタルプラクティス 特集号論文募集

「オープンサービスイノベーション」

● ● ▶ [投稿締切] 2015年8月5日(水) 17:00 ◀ ● ●

本特集ではオープンサービスイノベーションに関連した、著者ご自身のプラクティスに基づく論文を募集します。

内閣府の調査によると、日本のサービス産業の割合は1980年に5割だったものが2010年時点で約7割まで上昇しています。製造業を含めたさまざまな業界で、単なるモノの提供ではなく、モノも含めたサービス全体を顧客への提供価値として捉える考え方が重要視されています。ビジネスプロセスにおける力点も「モノづくり」(製造)からサービスへシフトしてきており、サービスに関連するさまざまなステークホルダーや顧客との共創により、サービス全体をデザインすることの重要性が増しています。

このような中、イノベーション創出の手法として、自社内外のリソースを最適に組み合わせ、新しいサービスを生み出していくオープンサービスイノベーションが注目を集めています。

- 事業を製品中心ではなく、サービス中心で捉え直す
- ユーザをパートナーにサービスを共創する
- 内部のイノベーションを加速するために意図的に外部との知識変換を促す
- 外部に対して開放的な新しいビジネスモデルに転換する

これら4点が、オープンサービスイノベーションのキーファクタとして示されていますが、これらを実践して、実際に新たなサービスを生み出すことは容易なことではありません。そこで、オープンサービスイノベーションの実践やそこで活用できる具体的な手法やプロセス、ツール、事例をプラクティスとして共有することで、革新的なサービスを生み出す一助にしたいと考えます。

本特集号では、アイデアソン/ハッカソン、コミュニティ/ソーシャルメディア、ワークショップ、デザインシンキング、リーンスタートアップ等の顧客や多様なステークホルダーとの共創のための仕組みや手法を実践して新しいサービスを立ち上げた具体的な事例とそこで得られた知見(プラクティス)を論文として募集したいと考えます。考えられる切り口としては、

- サービス創出に関するプラクティス
 - ・ 社内の多様な部門や外部の知を取り入れることによって新たなサービスが生まれた事例
 - ・ ユーザとともにサービスをデザインした事例
- オープンサービスイノベーションのプロセスや手法に関するプラクティス
 - ・ 多様な人材の共創により、創造的なアイデアを生み出すプロセスや事例
 - ・ リーンスタートアップやデザインシンキングなどを活用したプロセスやサービス創出事例
 - ・ コミュニティやソーシャルメディアなどを活用したサービスづくり

などがありますが、もちろんこれらに限ったものではありません。

多くの皆様からの投稿をお待ちしております。



※投稿要領: Web サイトをご覧ください→ <http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0702s.html> (応募資格は問いません)

※掲載号: 2016年4月号 (Vol.7 No.2)

※特集エディタ: 柴崎辰彦(富士通), 澤谷由里子(早稲田大学), 福島俊一(NEC)

※編集委員: 編集委員長: 吉野松樹(日立), 副編集委員長: 茂木 強(科学技術振興機構)

委員: 青山幹雄(南山大学), 赤津雅晴(日立製作所), 伊藤 智(産業技術総合研究所), 位野木万里(工学院大学), 浦本直彦(日本IBM), 海老原吉晶(オムロン), 黒橋禎夫(京都大学), 齋藤正史(金沢工業大学), 澤谷由里子(早稲田大学), 住田一男(東芝), 中野美由紀(芝浦工業大学), 中村祐一(日本IBM), 平木 敬(東京大学), 平山雅之(日本大学), 福島俊一(NEC), 富士 仁(NTT), 藤瀬哲朗(三菱総研), 藤原陽子(日本IBM), 峯松信明(東京大学)

アドバイザー: 喜連川優(国立情報学研究所・東京大学)

Yahoo! JAPANのデータフィケーション



データフィケーション(データ化すること)

Datafication

音声や画像は、センシングによりデジタル化されますが、それだけでは意味的な情報を取り出すことは容易ではありません。音声認識や画像認識を通してデジタル情報をテキストデータに変換することで、特定の言葉が含まれているかを探すなど簡単な集計・分析ができるようになります。さらに高度な収集や集計・分析のためには、生のテキストデータを扱うよりも、テキストデータ自身が持つ付加的な関連情報であるメタデータを使う方が効率的です。「データフィケーション」とは、デジタル化をさらに押し進めた概念で、音声処理技術や画像映像処理などのマルチメディア処理技術を用いてデジタル情報を集計・分析が可能な状態にすることです。Yahoo! JAPANはこのデータフィケーションに取り組んでいます。

Yahoo! JAPAN TechBlog で、取り組みの詳細を紹介しています。

http://techblog.yahoo.co.jp/data_solution/datafication/

データから宝を探そう!

私たちと一緒にデータフィケーションとマルチメディア技術の先駆者としてヤフー・ジャパンで活躍してみませんか?

マルチメディア系(音声・画像・映像)プロダクトの技術職についてご興味のある方は下記へお問い合わせいただけます。

humanres-info@mail.yahoo.co.jp

(本広告を見た旨の併記をお願いします。)

【用いる技術例】

- ・音声系 : DSR/WFST/HMM/VAD/DNN/RNN
- ・画像映像系 : metric space index/Local-feature/BoF/ConvNets/GPGPU
- ・その他 : Linux/Apache HTTP Server/GitHub/Hadoop/C/C++/Java/SQL

HITACHI

Inspire the Next

それってきつと、
愛なんじゃないかな。

ある晩とつぜん、娘が僕に質問した。

「ねえ、パパって、どういう仕事してるの？」

僕は日立でオープンミドルウェアの

開発を担当している。

そう言ったら今度は

「ミドルウェアって何？」と聞いてきたんだ。

「うん、説明が難しいなあ。

たとえば君がよく見るオンラインショップや

お店に置いてあるレジ、

通学で使う電車もそうなんだけど、

その後ろではたくさんコンピュータと

ソフトウェアが働いているんだ」

「そうなんだ・・・」

「これをきちんと動かすには

いろいろなものをつないだり

うまく動くように支えてあげたり

問題がないかどうか見つけ続けたりという

そういうことが必要だよね」

「うん」

「これをぜんぶやっているのがミドルウェアなんだ」

「よくわからないけど、それってたとえと

愛情みたいなものなのかな」

「愛情？」

「つないで、支えて、見つけ続けるんですよ。

それってきつと、愛なんじゃないかな」

「そうなのかなあ」

「そうだよ。パパの仕事はコンピュータの世界に

愛を届けることなんだね」

そうか、愛なのか。

そんなこと、考えもしなかったな。



システムたちへ、この愛を。

Hitachi Open Middleware

つなぐ、支える、見つけ続ける。 JP1 Cosminexus HiRDB
日立のITプラットフォーム

◎株式会社 日立製作所 情報・通信システム社 ITプラットフォーム事業本部

■お問い合わせ HMCC(日立オープンミドルウェア問い合わせセンター)
0120-55-0504 (土、日、祝日を除く 9:00~12:00 13:00~17:00)
<http://www.hitachi.co.jp/soft/>

Human Dreams.
Make IT Real.

